

# 新体制で始動、新入団員募集 Toyako 一緒に野球しようぜ!



**チームスローガン** 闘志なき者はグラウンドから去れ

# 洞爺湖リトルシニア 硬式体験実施中!

北海道のてっぺん狙って駆け上がる

洞爺湖町の中学硬式野球チーム・洞爺湖リトルシニア(若松敦治監督)が道内外で存在感を示している。今季は8月の全道大会で悲願の全道制覇を達成。ナインは「北海道のてっぺんに駆け上がった。さらに卒団生は全道、全国で躍動している。チームはすでに新体制で始動。来季に向けて、伝統の「DNA」を受け継ぐナインが闘志を燃やす。

新チームを引っ張るのは、卒団生で今年のセンバツ甲子園で優勝した健大高崎(群馬)の石垣元投手の2世の呼び声が高い林優弦投手(八雲野田生中2年)。130km/hの速球と多彩な変化球を武器とする右の本格派だ。北海道選抜に招集されている。

主将の杉江惺成内野手(室蘭桜蘭2年)は堅実な守備と勝負強い打撃でチームを引っ張る。藤田大雅外野手(喜茂別中2年)は長打力と俊足を兼ね備え、長尾烈投手(伊達中2年)は相手を絞らせない投球と俊足巧打が持ち味。捕手も務める。

倉持雪汰捕手(真狩中2年)は巧みなリードと強肩、強打の頼れる女房役。外野も守れるのも強み。佐々木魁飛内野手(蘭越中2年)は安定した守備に定評があり、パンチ力のある打撃で強力打線をけん引する。団員は地元洞爺湖をはじめ

め、伊達、豊浦、室蘭、登別、喜茂別、留寿都、真狩、蘭越、寿都、八雲の31人で構成。団員数の多さが互いを刺激し合い、競争意識を高めさらなるレベルのアップにつながっている。

## いま見逃せない洞爺湖のエース



### 林君、道選抜に選出 右の本格派「貢献したい」

年末年始に台湾で開催される2024年度日台会長杯争奪国際親善野球大会の北海道選抜チーム(選手20人)に、林優弦投手(八雲野田生中2年)が選ばれた。「チームに貢献するようなピッチングをしたい」と本番を楽しみにしている。

身長172cm、体重82kg。130km/hの速球とスライダーやカーブなど、多彩な変化球を武器とする右の本格派。春からチームのエース背番号を背負う中心選手だ。

国際親善は12月25日～来年1月2日に行われる。期待を背負う右腕は「選抜された選手から良いところを吸収し自分のチームに生かしたい」と張り切っている。

道選抜には昨年、若松空選手が選ばれており、洞爺湖リトルから2連続の選出となった。

▼高い競争意識  
卒団生で今年のセンバツ甲子園で優勝した健大高崎(群馬)の石垣元投手の2世の呼び声が高い林優弦投手(八雲野田生中2年)。130km/hの速球と多彩な変化球を武器とする右の本格派だ。北海道選抜に招集されている。

▼センバツ優勝  
伝統あるチーム。OBは次の舞台で活躍している。センバツ甲子園で優勝した健大高崎のエース石垣元投手は、現在最速158km/hを記録するプロ注目の選手だ。さらにJR東日本東北の橋本吏功外野手(花咲徳栄高校)・東洋大学)は、今年度の社会人野球・都市対抗大会でホームランを放つなど、全国準優勝に貢献した。ほかに高校、大学、社会人で活躍する選手を多数輩出している。

指導をとる若松監督は大昭和製紙北海道やサンワード貿易など、社会人野球で選手として活躍。指導方針

である「フルスイング」失敗を恐れず思い切った攻めの姿勢で、将来性豊かな選手育成に力を入れる。何よりも礼節を重んじ、グラウンド整備や部室の清掃、あいさつなど野球を通して一回りも二回りも人間としての成長を促す。来季のチームについては「とても真面目で一生懸命に練習に取り組み選手ばかりです。全道優勝を狙えるチームです」と指導に力を入れている。

同球団は2006年に発足。勝ち負けにこだわらず、中学野球を長い野球人生の通過点と考える。一つ上のカテゴリーである高校野球へ向け、野球を通しての人間関係、規則の順守など「人間形成」を目的としている。ホーム球場は、ナイター設備がある洞爺湖第一球場(町内入江260)、室内練習場はバッティング練習などができるKAZUYUKIドーム(洞爺湖町洞爺湖温泉91-29)に、充実した練習環境は、選手の実現を後押しする。



## 洞爺湖リトルの卒団生の主な進学先

- 道外
  - 八戸学院光星 ●飛龍 ●花咲徳栄 ●尾道 ●大宮東 ●秋田 ●盛岡大付属 ●健大高崎
- 道内
  - 北海道大谷室蘭 ●鶴川 ●伊達緑丘 ●苫小牧高専 ●室蘭栄 ●石狩南 ●酪農大付属とわの森三愛
  - 北海道栄 ●室蘭東翔 ●駒大苫小牧 ●寿都 ●八雲 ●知内 ●小樽双葉 ●苫小牧工業 ●札幌山の手 ●虻田
  - 札幌新陽 ●室蘭工業 ●北海 ●留寿都 ●室蘭清水丘 ●北照 ●札幌清田 ●白樺学園 ●北星学園大付属
  - 函館有斗 ●旭川実業 ●栗山 ●北海道科学大付属 ●文教大付属

## 熱血! 監督インタビュー

### 洞爺湖リトルシニア 若松 敦治 監督

「洞爺湖、伊達、室蘭などをはじめ、後志管内から入団してくれています。部員同士仲良く、互いに刺激し合い、切磋琢磨しながら練習に励んでいます。卒団生は、駒大苫小牧高や白樺学園高など道内の強豪、道外では埼玉の花咲徳栄高、群馬の健大高崎高

「選手と卒団生について教えてください。」

「洞爺湖町の虻田地区のホームグラウンドをはじめ、室蘭、白老、札幌、蘭越で練習場所を置いています。指導者も順番に配置し、選手たちが住む場所の近くで練習ができるように選手と保護者への負担を減らしていきたいと考えています。練習時間は午後5時から7時半です。洞爺湖温泉には充実した室内練習場もあり年間を通して野球に集中できる環境を整えています。」

「練習について教えてください。」

「洞爺湖町の虻田地区のホームグラウンドをはじめ、室蘭、白老、札幌、蘭越で練習場所を置いています。指導者も順番に配置し、選手たちが住む場所の近くで練習ができるように選手と保護者への負担を減らしていきたいと考えています。練習時間は午後5時から7時半です。洞爺湖温泉には充実した室内練習場もあり年間を通して野球に集中できる環境を整えています。」

「洞爺湖リトルシニアではどのような選手を育てたいですか。」

「野球を通して『道具を大切に』『あいさつをする』『掃除やグラウンド整備をしっかりできる』『など』人として最も大切な部分を身につけてほしいです。『試合に出ていない選手の気持ちを考え、試合で頑張る』といった、相手の気持ちも考えられるようになってほしいです。勝ち負けよりも仲良く、楽しく活動してほしい。そのためにも間は広く使っています。甲子園やプロを目指している子もいますが、野球が大好きで『頑張りたい』、『頑張りたい』という子もいます。私たちはそういう選手たちを一生懸命に育てます。」

「練習以外のフォローアップなどはあれば教えてください。」

「指導陣が自宅でもできる練習メニューを考えアドバイスしています。また中学校卒業後の進路や自宅での練習メニュー、送迎などの要望、相談などを聞くために年に2回、保護者と指導陣での面談も行っています。」



## 2024年 硬式体験実施中

### 土日祝全て体験可能

※他、通常練習日も随時体験可能ですので、ご連絡下さい。

雨天時の場所変更もございますので、必ず事前のご連絡をお願いいたします。

9:00~15:00

途中参加可 防寒着もお忘れなく

### 雨天の場合

KAZUYUKI DOME (室内練習場)  
洞爺湖温泉91-29-2

ホームページもぜひご覧ください  
<https://www.netto.jp/toyako/>

お問い合わせ 太田コーチ 090-8427-0259